

2019年度介護福祉士養成のための奨学金支給対象者を決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団（理事長 二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜福祉財団」）は、2019年度介護福祉士養成のための奨学金を支給する10名を決定しました。

1. 介護福祉士養成のための奨学金制度の概要

損保ジャパン日本興亜福祉財団が実施している「介護福祉士養成のための奨学金制度」は、社会福祉の分野で人材不足となっている介護福祉士をめざす学生の育成を図ることを目的としています。介護福祉士を目指す優秀であるが学資の支弁が困難と認められる学生（2年制専修学校が対象）に返済義務のない奨学金（月額3万円、2年間）を支給するものです。

損保ジャパン日本興亜福祉財団では、1992年から本制度を開始し、昨年度までの27年間で奨学金対象者は278名にのぼり（奨学金総額約1.9億円）、卒業生は全国の特別養護老人ホーム等の介護関連施設で活躍しています。

2. 2019年度奨学生

2019年度は指定校25校に加え、財団ホームページに掲示した募集要項を通して指定校以外からも募集を行い、指定校からは16校と指定校以外からは1校より応募がありました。

有識者で構成する選考委員会において選考を行い10名の奨学生を決定いたしました。詳細は以下のとおりです。

〔2019年度介護福祉士養成のための奨学生所属の専修学校〕

所在地	学校
宮城	仙台医療福祉専門学校
茨城	リリーこども&スポーツ専門学校
愛知	日本福祉大学 中央福祉専門学校
愛知	田原市立 田原福祉専門学校
大阪	南海福祉看護専門学校
和歌山	和歌山社会福祉専門学校
岡山	旭川荘厚生専門学院
高知	高知福祉専門学校
宮崎	宮崎医療管理専門学校
熊本	九州中央リハビリテーション学院

<損保ジャパン日本興亜福祉財団について>

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社の出捐を受け、社会貢献活動の一翼を担う財団として設立された公益法人です。同財団の主な活動は本助成のほか、社会福祉・社会保険・損害保険・ジェロントロジー等に関する研究助成や研究会・講演会を行うとともに、わが国における優れた社会福祉学術文献の表彰（「損保ジャパン日本興亜福祉財団賞」）およびこの受賞者による講演会・シンポジウムを行っています。

以上